MRC-HB [Ver2.0-200319]



明京電機株式会社 2020/4/10作成

弊社ソフトウェアMRC-HB ver2.0(以下,「本ソフト」と呼ぶ。)をご利用いただき,誠にありがとうございます。

本書にはMRC-HBの各項目の説明,設定の一例が書かれています。

本ソフトは、弊社サイネージリブーターRPC-M4HSi専用のソフトウェアとなります。RPC-M4HSiに対してハートビートパケットを送出する目的で、ご使用ください。



基本画面の「IP Address」と「Start Wait Time」, CPU resource画面の「Monitored application」を設定すれば、あとはデフォルト値のままで、本書の最終項《設定例》のように設定することができます。

MRC-HB Ver 2.0-200319		×
Heartbeats Status	CPU resource status	Start
	CPU resource Count Max	Stop
IP Address Port Local Port 192.168.10.1 9100 9100 Code Data select Send data MK None	Interval 5 sec Start Wait Time 0 sec	CPU resource
Add shortcut to startup		Exit
MRC-HB Ver 2.0-200319		×
CPU resource Check Vaiting for Monitored application Counts	Open #0 - #10 task no.	
Log Report	^	
	Ŷ	ОК

《各項目》

[A] 基本画面

MRC-HB Ver 2.0-200319		×
Heartbeats Status	CPU resource status	3 Start
	5 CPU resource Count Max	4 Stop
6 IP Address 7 Port 8	Local Pot	
192.168.10.1 9100 Code Data select Send MK None	9100 5 sec data 3 Start Wait Time 0 sec	CPU resource
		16 Close
Add shortcut to startup		Exit

[B] "CPU resource"画面

MRC-HB Ver 2.0-200319	×
19 Vaiting for start	
Monitored application	
21 30	
Log Report Log CLS logfile.txt	
^	
~	23 ок
]

①"Heartbeats Status"

ハートビートパケット送信状況を表示します。

- ●送信中は"Send",停止中は"Stop",送信開始/停止日時を表示します。
- ●"Start Wait Time"(⑬)や"Waiting for start"(⑲)で「送信待ち」が発生していると, "Start"と表示されます。

②"CPU resource status"

"CPU resource"(⑫)で指定したソフトウェアのCPU監視状況を表示します。"Counts"(⑫)で指 定した秒数間,異常を検知するとハートビートパケット送信を停止します。

●"WT"=「ウェイトタイム中」の意味。(⑬参照)

3"Start"

ハートビートパケット送信を開始します。

- ★"Start Wait Time"(⑬)設定時,そのウェイトタイムを待ってから送信開始します。⑬の右 隣の部分に残り時間が表示されます。
- ★ "CPU resource Check"([®])がON(CPU稼働率監視実行時), "Waiting for start"([®])もONの時,監視するアプリが起動されていないと"Start"をクリックしても送 信待ちの状態になります。

④"Stop"

ハートビートパケット送信を停止します。

⑤"CPU resource Count Max"

CPU監視状況で,同じ数値[__%]が続いた場合,何秒間続いたかを表示します。

★使用する動画を一度試験的に再生し、この枠に表示されたCount数よりも大きな数値を② 「Counts」に設定してください。

6"IP Address"

ハートビートパケット送信先IPアドレスを指定します。(デフォルト:192.168.10.1)

⑦"Port"

送信先ポート(RPC-M4HSiの「リブーター側ポート(受信)」と合わせます) (デフォルト:9100)

®"Local Port"

送信元ポート (RPC-M4HSiの「STB側ポート(送信)」と合わせます) (デフォルト:9100)

9"Interval"

パケット送信間隔(秒) (デフォルト:5)

★サイネージリブーターRPC-M4HSiの「STB設定」(もしくは「ハートビート監視設定」)で 「ハートビート監視間隔(秒)」に設定した秒数よりも「<u>短く</u>」設定してください。

10"Code"

ハートビートパケットデータ,後ろ2文字部分(デフォルト値: MK)

★サイネージリブーターRPC-M4HSiの「STB設定」(もしくは「ハートビート監視設定」)で 「パケット文字列」に指定した文字列をここに設定します。

1)"Data select"

ハートビートパケットデータ,前5文字部分(デフォルト値: None)

[None] [CPU (DEC)] [CPU (HEX)]から選択できます。

★[CPU (DEC)] [CPU (HEX)]を選択すると、ハートビートパケットデータの前5文字部 分に、送出時点で"CPU resource status"(②)に表示されている「●%」の数値を反映 させて、ハートビートパケットを送出することができます。 (DEC:10進法で。 HEX:16進 法で。)

¹2"Send data"

⑪で[CPU (DEC)] [CPU (HEX)]選択時,直近で送出したパケットの前5文字部分を表示します。

³"Start Wait Time"

本ソフト起動後,パケット送信を行わない時間を設定できます。(デフォルト:0秒)

★STBが再起動されて,スタートアップで本ソフトが起動してから,動画再生が安定する までの時間(秒数)を入力してください。

⁽⁴⁾"CPU resource"

CPU監視したいソフトウェアを指定する画面[B]に移動します。

^(b)"Add shortcut to startup"

「スタートアップ」フォルダにショートカットを作成し、PC起動に伴って自動的に本ソフトを起動するよう にします。

¹⁶"Close"

設定画面を閉じます。(常駐状態のまま) (設定画面右上の「×」マークは[Close]と同様,常駐したままになります。)

1)"Exit"

本ソフトを終了します。

18"CPU resource Check"

チェックが入っている時は「CPU監視モード」になります。(デフォルトで,チェックが入っています。) (チェックを入れない場合は,CPUを監視せず,"Start"をクリックするとパケットを送出し始 め,"Stop"をクリックするまで送出し続けます。)

⁽¹⁾"Waiting for start"

指定したメディア再生ソフトが起動していない時は「WT」状態にし,ハートビートパケットを送出しない (停止したままの)状態にします。(デフォルトで,チェックが入っています。)

(チェックを入れない場合は,指定したメディア再生ソフトが起動していなくてもハートビートパケット送出は開始され,Countが満ちるまでの間はハートビートパケットを送出し続けるため,動画が再生されていないディスプレイの画面がONになってしまうことになります。)

⁽²⁾"Monitored application"

CPU監視を行いたいソフトウェア,タスク番号を指定します。直接入力する,プルダウンメニューから 選択する,または[Open]からexeファイルを指定してください。

●プルダウンメニューから,

[wmplayer#0]: Windows Media Player [vlc#0]: VLC media player

が設定できます。

★Windows10デフォルトの「映画&テレビ」などのストアアプリケーションや, UWPアプリケ ーションは指定できません。

②"Counts"

異常が何秒間続いたときにハートビートパケット送信を停止するか指定します。(Countが満ちるまで はパケットを送出し続けます。) (デフォルト:30)

"Log Report"

[Log]にチェックを入れると、下のウィンドウにログを表示し、本ソフトのあるフォルダにログのテキスト データを残すようになります。

[CLS]をクリックすると、下のウィンドウのログを消去します。(テキストデータは、mrchb.exeが格納 されているフォルダに保存されています。)



(IF)ドレスは一例です。この)ドレスでなり4 ほならないわりではめりません) (STBの電源を, RPC-M4HSiのアウトレット2からとっている設定です)

【MRC-HB Ver2.0-200319の設定】

 (1)「MRC-HB Ver2.0-200319」
 を起動します。すると右の画面が 表示されます。

MRC-HB Ver 2.0-200319 Heartbeats Status	CPU resource status	Start
	CPU resource Count Max	Stop
IP Address Port Local Port 192.168.100.170 9100 9100 Code Data select Send data	Interval 5 sec Start Wait Time	CPU resource
MK None 💌	0 sec	Close
Add shortcut to startup		Exit

(2) 実際に運用するにあたって[Start Wait Time]と[Counts]の適正値をテストする必要があります。 《テストですので, RPC-M4HSi側はまだ設定していない状態で構いません。》

●テストに先立って,

- Windowsのスタートアップに設定して,STBが起動後,自動で動画再生が始まるようにしてく ださい。
- 本ソフトの[Add shortcut to startup]をクリックして、本ソフトがスタートアップに登録され るようにしてください。
- 本ソフト[CPU resource]画面, [Monitored application]で, CPU監視先となる動画

再生ソフトを指定してください。

- ●Windows Media Player, もしくはVLCメディアプレーヤーを指定する場合は, プル ダウンメニューから選択してください。
- ●その他のソフトを使用する場合は[Open]をクリックし, exeファイルを指定してください。

《各項目の説明》

- ★[Start Wait Time] : STBが起動時に,スタートアップで本ソフトが起動し,その後,動 画再生が安定して行われるまでの時間(秒数)を設定する必要が あります。
- ★[Counts] : CPU監視において同じ%が続くとカウントアップが始まります。 そして、ここの設定値までカウントアップされると、ハートビートパケ ット送信を停止します。そのため、一度運用する動画を(最初から最 後まで通しで)テスト再生し、再生後、本ソフト基本画面の[CPU resource Count Max]に表示された、未尾の「~ Count ●」の「●」の数値よりも少し大きい値を設定してください。

MRC-HB Ver 2.0-200319		×
Heartbeats Status Stop 2020/04/03 16:08:37	CPU resource status CPU (0%) Count 0/10 OK	Start
	CPU resource Count Max 16:08:15 CPU (02 Count 7	Stop
IP Address Port Local Port 192.168.100.170 9100 9100 Code Data select Send data MK CPU (DEC) C0031MK	Interval 5 sec Start Wait Time 0 sec	CPU resource
Add shortcut to startup		Close Exit

↑この画像であれば,「7」より大きめで「9」などに設定。

(3)(2)のテストで得た数値をもとに、各項目の設定確認をします。

《基本画面》

[IP Address]に「RPC-M4HSiのIPアドレス」を入力します。

[Interval]:「5」秒。ハートビートパケットを5秒間隔で送信します。 ★RPC-M4HSiで設定した「ハートビート監視間隔(秒)」よりも短い間隔にしてください。

[Start Wait Time]:(2)で得た「スタートアップで本ソフトが起動し,その後,動画再生が安定して 行われるまでの時間(秒数)」より1,2秒長い値を設定してください。

《CPU resource画面》

[CPU resource Check], [Waiting for start]両方ともにチェックを入っていることを確認してください。(デフォルトでONになっています)

[Counts]を(2)で得た値に設定します。

★(1)の[Interval]よりも大きな値にしておく必要があります。

[Log]にもチェックを入れておくと、CPU監視の様子をログに残すことができます。チェックを入れることを推奨します。

これらの設定をした後,[OK]をクリックし,(1)の画面に戻しておきます。

【RPC-M4HSiの設定】

(1) 画面左の【サイネージ管理】[STB設定]を クリックすると、右の画面が表示されます。

DC MALIC:	-	_	31	ネージ管理	/ 51	DaxA	E	_	-		
状態表示				シャットダウ	ウン設	定					
商易状態表示		フトレット	・1 アウトレ	יייר2	<i>P</i> 7	ントレ	ット:	3	アウ	トレット	1
羊細状態表示				Wake O	n La	n					
ベントログ		lakour		2			_		_		
ージ管理		Wake	山の開稿(秒)	15							_
		Trunc									
æ			アウトレッ	ト連動送信	Wal	ke O	n Li	an	_		
_	No.	7	フトレット名称			M	AC	アドレス			
_	1		Outlet1	00:00	:00:0	0:00:	00				
示	2		Outlet2	00:00	:00:0	0:00:	00				
1250	3		Outlet3	00:00	:00:0	0:00:	00				
41270	4		Outlet4	00:00	:00:0	0:00:	00				
無効			/\-	-トビート監	視条	牛設定	2				
	STB	1	STB名称		1		監視	IIPアド	レス	制限	
	1	Ē	eartheat #1				(꼬	2欄→全	て受	信)	_
	2	E E	eartbeat #2								
0.151	3	E E	eartbeat #3		+	Ē					
.]	4	Ē	eartbeat #4		-	Ē				_	
朱式会社	a) C				_					
		S	тв	1		2		3		4	
		HB		-	1.0	412	-	A ALZ		MK	7
		TID.	文字列	MK		vin		MK	-		-
	リブ	一夕一個	文字列 ポート(受信)	МК 9100] 9	101		9102		9103	
	רני	ーター個 5TB側ポ	文字列 ポート(受信) パート(送信)	МК 9100 9100	 9 9	101 101		9102 9102		9103 9103	_
	רני 5 //-	ーター俳 TB側ポ トビート	文字列 ポート(受信) ポート(送信) 監視問隔(秒)	МК 9100 9100 8	 9 [.] 9. 8	101 101		9102 9102 8		9103 9103 8	
	דעי 5 //-	ーター値 TB側ボ トビート TimeC	文字列 リボート(受信) パート(送信) 監視問隔(秒) い い い い い い い い い い い い い	МК 9100 9100 8 3	 9 9 8 8	101 101		MK 9102 9102 8 3		9103 9103 8 3	
	リブ 5 ハー リブ-	「ーター俳 「一ター俳 「TB側ボ トビート TimeC ート判定	文字列 ポート(受信)	МК 9100 9100 8 3 90	 9 9 8 8 3 9	101 101 D		MK 9102 9102 8 3 90		9103 9103 8 3 90	
	リゴ s ハー	「ーター側 「一ター側 「TB側ボ ートビート TimeC ート判定 (動作量	文字列 ポート(受信) ポート(送信) 監視問隔(秒) ut判定数 後,無監視時間 秒) 急大回数	МК 9100 9100 8 3 90 2	[9 9 8 3 3 9 9 2	101 101 0		MK 9102 9102 8 3 90 2		9103 9103 8 3 90 2	
	リブ S ハー リブ・ 電	- ター の TB 側 ホ ・ トビート TimeO ート判定 (動作量 証源供給	文字列 ポート(受信) ポート(送信) 監視問隔(秒) いは判定数 後,無監視時間 秒 数 たの数 アウトレット	MK 9100 9100 8 3 90 2 たむし	() 9 9 8 8 3 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	vik 101 101		МК 9102 9102 8 3 90 2 хь		9103 9103 8 3 90 2 なし	
	レ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	「ーター個 STB側ボ トビート TimeC ート判定(動作量 証源供給	文字列	MK 9100 9100 8 3 90 2 2 なし	() 9 9 8 3 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	101 101		MK 9102 9102 8 3 90 2 なし		9103 9103 8 3 90 2 なし	~
	リナ S ハー リナ・ R STB	- ーター 個 示 TB 側 ボ トビート Time C ート 判定 (動作量 重源供給 有効 -	文字列 リボート(受信) ボート(送信) 監視問隔(秒) 如は判定数 後,無監視時間 秒) 数大回数 アウトレット	MK 9100 9100 8 3 90 2 なし	() 9) 9) 8) 8) 3) 9) 3) 9) 3) 9) 3) 9)) 2) な , な	101 101 101 0		MK 9102 9102 8 3 90 2 2 なし		9103 9103 8 3 90 2 なし	~
	リナ S ハー リナ・ STB	- ター便 STB側ボ トビート TimeC ート判定(動作量 重源供給	文字列 リボート(受信) ボート(送信) 監視問隔(秒) いは判定数 後) 無監視時間 例 動 大回数 アウトレット 1	МК 9100 9100 8 3 90 2 2 ас	נו 9 9 8 8 3 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	101 101 101		мк 9102 9102 8 3 90 2 2 5 4 0		9103 9103 8 3 90 2 2 4	~
	リゴ S ハー リブ・ ボ STB	ター便 	文字列 ポート(受信) ポート(送信) 監視問隔(秒) ut1定数 後,無監視時間 秒) 大回数 アウトレット 1 1	MK 9100 9100 8 3 90 2 2 なし 2	נ 9 9 8 8 3 9 9 9 9 9 2 • 5 7 *	101 101 101 ローレット		MK 9102 9102 8 3 90 2 たし		9103 9103 8 3 90 2 2 5 4 4	~
	リゴ S ハー リブ・ ポ る STB 1 2	-ター母 - フター母 - 下田側ボ トビート 下ImeC 動作量 雪頭供給 有効 -	文字列 Iボート(受信) ボート(送信) 監視間隔(秒) ut1判定数 後,無監視時間 が) 数大回数 アウトレット 1 1	МК 9100 9100 8 3 90 2 Сац ~	(9) 9) 8 8 3 3 9) 9 9 1 2 ・ な アウト	101 101 0 にし		MK 9102 9102 8 3 90 2 2 なし		9103 9103 8 3 90 2 なし 4 0	~
	リナ S ハー リナ・ 電 STB 1 2 3	- ター 便 - アーター 便 - 下田 側 ポ - ドビート - 下判定 (文字列 Iボート(受信) エト(送信) 監視間隔(秒) ut1判定数 後,無監視時間 か) 数大回数 アウトレット 1 1 1	MK 9100 9100 8 3 90 2 なし 2 2 - - - - - - - - - - - - -	[] 9] 8] 8] 3] 9] 2 . [2 . [2 . [2 . [2 . [2 . [2]. [2]. [2]. [2]. [2]. [2]. [2]. [2]	101 101 101		MK 9102 9102 8 3 90 2 7 2 7 2 7 2		9103 9103 8 3 90 2 2 7 & U 4 0 0	~
	リナ S ハー リナ・ 第 STB 1 2 3 4	- ター 俳 - アター 俳 - 下田側ボ トビート TimeC 動作最 有効 - - - - - - - - - - - - - -	文字列 リボート(受信) ボート(送信) 監視問隔(秒) いは判定数 後か,無監視時間 か) 秋日数 アウトレット 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	MK 9100 9100 8 3 90 2 なし 2 2 - - - - - - - - - - - - -	() 9) 9) 8) 3) 9) 3) 9) 2 ・ な アウト	101 101 101 にし		9102 9102 8 3 90 2 7xL		9103 9103 8 3 90 2 & 4 - - - - - - - - - - - - -	~

- (2) 以下のように設定してください。
- 【ハートビート監視条件設定】

「監視IPアドレス制限」

- →空白の場合,あらゆるIPアドレスからのハートビー トパケットを受け付けます。
- →STBからのハートビートパケットのみを受け取りた い場合,この欄に「STBのIPアドレス」を入力して ください。

「HB文字列」

- →MRC-HBの"Code"と合わせてください。
- 「リブーター側ポート(受信)」 →MRC-HBの"Port"と合わせてください。
- 「STB側ポート(送信)」

→MRC-HBの"Local Port"と合わせてください。

「ハートビート監視間隔(秒)」

デフォルト:8秒

- 「TimeOut判定数」
 - デフォルト:3回
 - →デフォルト値のままならば, ハートビートパケットが届かなくなって 8秒×3回=24秒ほどでTimeOut判定 になり,動作条件に設定した動作が 実行されます。

	<u>۸</u> -	ートビート監視	条件設定			
STB	STB名称		監視IPアドレス制限 (空欄→全て受信)			
1	Heartbeat #1	192.168.100.151				
2	Heartbeat #2					
3	Heartbeat #3					
4	Heartbeat #4					
	STB	1	2	3	4	
	HB文字列	МК	МК	МК	MK	
リブー	ター側ボート(受信)	9100	9101	9102	9103	
ST	STB側ポート(送信)		9101	9102	9103	
			1.000	lo tor	0.00	
ハート	ビート監視間隔(秒)	8	8	8	8	
ハート T	ビート監視間隔(秒) imeOut判定数	8	8	8	8	
ハート T リブー	ビート監視間隔(秒) imeOut判定数 ト判定後, 無監視時間 (秒)	8 3 90	8 3 90	8 3 90	8 3 90	
ハート T リプー	ビート監視間隔(秒) imeOut判定数 ト判定後,無監視時間 (秒) 動作最大回数	8 3 90 2	8 3 90 2	8 3 90 2	8 3 90 2	

CTD	大力	アウトレット					
SID HX		1	2	3	4		
1		×					
2							
3							
4							
動	作	Off追従 ✔	Sh->Re ✔	無動作 🖌	無動作 🖌		

「動作最大回数」(動作が「Reboot」「Sh->Re」の時,この数値が適用されます) デフォルト:2回

→「STBの電源OFF→ON後, WOLによってSTBが起動しようとしたものの, OS起動の段階でフリーズ する」という事態に備えて, 動作「Sh->Re」を2回以上に設定される場合, 「正常にOSが起動し, スタ ートアップでMRC-HB起動, そして動画再生を開始して安定するまでの時間」を「リブート判定後, 無 監視時間(秒)」に設定する必要があります。

「電源供給アウトレット」

- →(ハートビートパケット送出元となる)STBの電源がとられている,リブーターのアウトレットを指定してく ださい。
 - →そのアウトレットに対して、WEB画面から手動で電源OFFを行う、またはスケジュールで電源OFF にした場合は「意図的な電源OFF」と判断し、そこからハートビートパケットが届かなくても「正常」 と判断する(ハートビート監視を停止し、TimeOut判定せず、動作を実行させない)ようにできます。 ★詳細取説「付録B」をご覧ください。

(3) 画面下部の[適用]をクリックします。

★MRC-HB側の設定, RPC-M4HSi側の設定が行い, 動画を再生している状態で, RPC-M4HSiのWEB画面左側の【サイネージ制御】の[有効]をクリックし, [CPUリセット]をクリックしてください。

